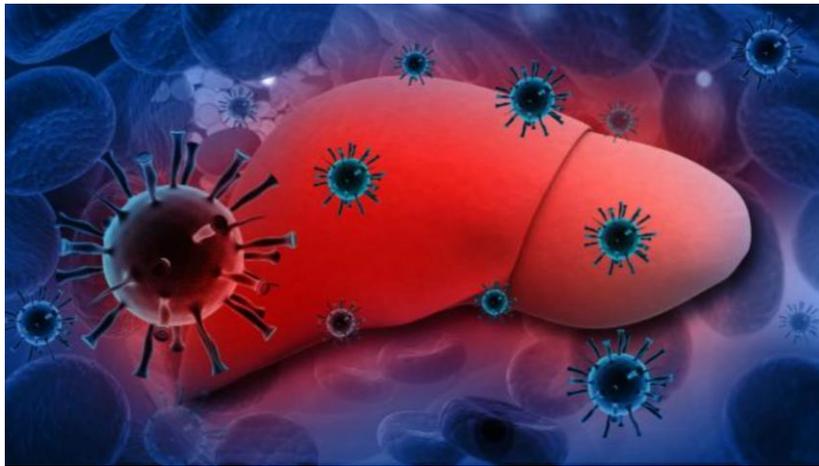


B型肝炎・C型肝炎 共感染例

日本肝臓学会のC型肝炎治療ガイドライン(第5版・簡易版)では、以下のように規定しています。



- HCV/HBV の重複感染例に対しては HCV 単独感染例同様の治療を行うべきである。
- HCV に対する抗ウイルス治療施行前には、HBV 共感染ないし既往感染の有無を確認する。

- HBV 共感染例に対する抗 HCV 治療においては、HBV の再活性化に厳重な注意が必要である。抗 HCV 治療前および治療中に HBV-DNA 量など HBV マーカーをモニタリングし、HBVDNA 量の上昇がみられた場合には核酸アナログを投与する。
- HBV 既往感染例に対する抗 HCV 治療においても HBV の再活性化には注意が必要である。抗 HCV 治療中の ALT 上昇時など、必要に応じて HBV 検査を行い、再活性化が判明した場合には核酸アナログを投与する。

